

活動名：第14回福島空港公園杯8人制ジュニアサッカーフェスティバル

日程：令和5年6月10日（土）・11日（日）

会場：福島空港公園

参加：T6選抜・L100 12名

帯同：熊坂コーチ

サポート：佐藤コーチ・貝和コーチ

結果：リーグ戦

VSFC Allez T 5:0

VS中央ドリマJSC セカンド 14:0

VS岩根SSS A 4:0

VS猪苗代 0:3

VSグランツ 2:3

VS岩根SSS B 10:0

最終順位 3位/7チーム

報告：熊坂

テーマ

ゴールの意識を高く持ち、積極的にゴールを狙うこと。

1対1の攻守において責任を持って対応すること。

運動量を上げて、攻守の切替を早くすること。

家族への感謝の気持ちを持って全力でやりきること。

良かったところ

選手達のプレーから意識の高さ、学ぼうという意欲を感じることが出来ました。

大会と真剣に向き合い全ての試合で全力を尽くしてくれました。さすがトップチームだなと思いました。

一人一人が得点の意識を高く持っていてくれました。

前回の大会よりも積極性がありゴールへ向かうプレーが増えました。

キック力のある選手がミドルレンジからシュートを打つ場面も沢山見られました。

又、攻撃の組立にも変化がありました。

前回の大会では中央の狭い範囲でのプレーばかりでしたがピッチの幅を利用して左右の大きな展開があったり、DFの裏を狙う動きやスルーパスといった上下の幅も使っていました。

チームの仲が良く、仲間を批判することはありませんでした。

又、試合の合間も選手達だけでミーティングを実施してくれていてとても嬉しく思いました。

3位という結果は残念ではありましたが、結果に代え難い2日間の貴重な経験を積

めたことが良かったと思います。ミスの許されない緊張感のある試合を経験出来たこと、勝てた試合では自信に繋がったと思いますし、負けてしまった試合では足りないものを感じることが出来ました。

真剣勝負から多くを学んだ選手達の更なる成長が楽しみです。

課題

ミスが絡んで失点してしまう事が多かったです。

技術的なミスと判断ミスです。

失点に繋がるケースでは正確なプレーと冷静な判断をして欲しいと思います。

1対1の守備でワンサイドカットで追い込むことや体を入れてボールを奪うことがまだまだ出来ていませんでした。又、不用意に飛び込んで交わされてしまうこともありました。寄せるべきか、距離をとるべきかを周りの状況を見て判断して欲しいと思います。

ファウルも多かったです。

原因としては次のプレーを予測していないことです。

次のプレーを予測して相手より先にボールに触れる、もしくは相手がトラップした瞬間に寄せ切ることが出来ていたらファウルを減らせます。

FKからの失点もありましたので不用意にファウルしない・・・その為には相手より先に動き出すことが大事なので次のプレーを予測することを心掛けて下さい。

浮球の処理が出来ていない選手が多かったです。

ボールに対して体を横にして足で処理をしようとして後ろに逸らす場面が多々ありました。ボールを怖がらず体の正面で処理するようにして欲しいと思います。

最後に基本技術です。

「ボールを止める、運ぶ、蹴る」がまだまだだと感じました。

特にトラップミスが多かったです。ボールを足元におさめることが出来なければ次のプレーには移れません。

基本技術はボールに沢山触れて感覚を養うしかありません。

時間を見つけて沢山ボールに触れるよう機会を作って欲しいと思います。

出来事

試合前のアップでPK練習をしました。

全員がチャレンジして決めたのは数名でした。

プレッシャーに弱い選手が多いので設楽コーチからプレッシャーに負けない心を伝授してもらうしかないと思いました。



